

問1 東南アジアの島嶼部に見られる伝統的な住居の工夫について、その地域の自然環境と関連付けて述べた文として正しいものを次の中から選びなさい。 (2021年 岩手県公立入試 類似)

1. 降水量が極めて少なく乾燥しているため、窓を小さくし、日干しれんがで家を建てている。
2. タイガと呼ばれる針葉樹林が広がっているため、豊富な木材を利用した丸太づくりの住居に住んでいる。
3. 年中高温多湿であるため、高床式住居にして風通しを良くし、湿気や暑さへの対策としている。
4. 広大な草原が広がっているため、家畜の移動に合わせて簡単に解体・組み立てができる住居を用いている。

問2 岩手県の人口動態において、20世紀半ばから21世紀初頭にかけての統計的な特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2024年 岩手県公立入試 類似)

1. 1900年から1940年にかけて人口が増えたことが、1950年代に人口が140万人を大きく割り込む原因となった。
2. 1950年代に一度140万人を突破してピークを迎えた後、2000年から2010年にかけては約140万人から約133万人へと減少した。
3. 1950年代から2000年にかけて人口は一貫して増え続け、21世紀に入ってから初めて140万人の万台に乗った。
4. 1880年から現代まで、岩手県の人口は常に80万人から100万人の間で推移しており、140万人に達した時期はない。

問3 人口統計において、エチオピアなどの発展途上国に見られる、0歳から4歳の年少人口の割合が最も高く、年齢が上がるにつれて急激に人口が減少していく形状を何と呼びますか。 (2020年 岩手県公立入試 類似)

1. 富士山型
2. 星型
3. つりがね型
4. つぼ型

問4 1637年、九州の島原半島や天草諸島において、領主による過酷な年貢の取り立てやキリスト教への厳しい弾圧に対して、農民やキリスト教の信者らが起こした大規模な一揆を何というか。 (2017年 岩手県公立入試 類似)

1. 山城の国一揆
2. 正長の徳政一揆
3. 加賀の一向一揆
4. 島原・天草一揆

問5 日本の多くの地域では高齢化が進行しており、「車を自由に使えない人」の約7割を60代以上が占めています。こうした状況に対応し、交通空白地帯の解消や高齢者の移動手段の確保を目的として、自治体などが運行する小型バスや、利用者の予約に応じて走行する輸送形態を何と呼びますか。 (2017年 岩手県公立入試 類似)

1. 都心回帰現象による路面電車の撤去
2. 貨客混載による物流システムの効率化
3. モータリゼーションの推進
4. コミュニティバスやデマンド型交通

問6 大航海時代におけるヨーロッパ諸国の動きについて述べた次の文のうち、当時の大型船の役割や航海の背景として正しいものはどれですか。 (2021年 岩手県公立入試 類似)

1. 北アメリカの植民地の人々が、イギリスの茶税に対する抗議として、港に停泊していた船の茶箱を海に投げ捨てた。
2. スペインの支援を受けたマゼランの船隊が、南アメリカ大陸の南端を通過して西へ進み、世界一周を達成した。
3. 清（中国）との貿易赤字を解消するため、イギリスが船を用いてインドからアヘンを運ぶ貿易を組織化した。
4. キリスト教の聖地エルサレムを奪還するため、ヨーロッパ諸国の騎士たちが軍船を連ねて西アジアへ遠征した。

問7 地球儀を使って方位を確認する学習において、東京を通る経線に沿ってテープを貼り、さらにそのテープと東京で直角に交わるように別のテープを貼りました。この直角に交わったテープを、ユーラシア大陸側（中央アジア付近）へとたどった場合に示される方位として正しいものはどれか、次から選びなさい。 (2021年 岩手県公立入試 類似)

1. 東
2. 西
3. 北
4. 南

問8 明治時代の初期、政府の近代化政策に伴い、都市部を中心に欧米の文化や制度が積極的に取り入れられました。この時期に見られた、煉瓦造りの建物やガス灯の設置、馬車の運行などに象徴される社会の変化を何と呼びますか。 (2023年 岩手県公立入試 類似)

1. 国風文化
2. 文明開化
3. 大正デモクラシー
4. 高度経済成長

問9 近年、日本の飲食店において、料理に含まれる食材をピクトグラム（絵文字）や英語で表示し、特に豚肉の使用の有無を明確にする取り組みが広がっています。このような食習慣に関する配慮が必要とされる背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 岩手県公立入試 類似)

1. ヒンドゥー教徒は牛を神聖なものとして崇めるが、豚肉を食べることは推奨されているため。
2. 仏教徒は殺生を禁じているため、肉類の中では特に豚肉の摂取が厳しく制限されているため。
3. イスラム教徒にとって豚肉は教典により禁じられた食材であり、安心して食事をしてもらうため。
4. キリスト教徒は特定の曜日以外に豚肉を食べることを禁止しており、その時期を知らせるため。

問10 律令制度の下で作成された戸籍において、重い税負担を免れるために、本来は男子である者を女子として虚偽の申告を行う「偽籍（ぎせき）」が横行しました。当時の税制において、収穫の約3%の稲を納める「租」は男女共通の負担でしたが、男子にのみ課せられ、偽籍の原因となった主な負担の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2019年 岩手県公立入試 類似)

1. 収穫の約3%の稲を納める租、地方の特産物を納める調、都での労役に代わる布を納める庸
2. 地方の特産物を納める調、都での労役に代わる布を納める庸、そして土地を永久に私有できる権利
3. 地方の特産物を納める調、都での労役に代わる布を納める庸、地方での労役である雑徭、そして兵役
4. 都での労役に代わる布を納める庸、地方での労役である雑徭、そして口分田を分け与える班田収授

問11 第8代将軍である足利義政が京都の東山に銀閣（慈照寺銀閣）を建てた時期の社会情勢について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2020年 岩手県公立入試 類似)

1. 北条氏が執権として政治の実権を握り、元軍の襲来に備えて防塁を築いた。
2. 幕府の役職である老中が中心となり、株仲間の解散を命じる天保の改革が行われた。
3. 天皇を中心とする政治を取り戻すため、建武の新政が開始された。
4. 将軍の補佐役である管領の家督争いや将軍の跡継ぎ問題が重なり、応仁の乱が始まった。

問12 特定の国や地域との間で、関税の撤廃や削減といった貿易の自由化に加え、投資の促進や人の移動、知的財産の保護など、幅広い分野で経済的な連携を強化する協定を何といいますか。その名称と、日本がフィリピンとの間でこの協定を結んだことによる具体的な影響の組み合わせとして正しいものを選んでください。 (2023年 岩手県公立入試 類似)

1. TPP11（環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定）により、日本企業の海外進出が厳しく制限され、フィリピンでの現地雇用が禁止された。
2. WTO（世界貿易機関）のルールに基づき、フィリピンからの労働者の受け入れを停止し、日本国内の技術を国外へ持ち出さないことが義務付けられた。
3. EPA（経済連携協定）の締結により、バナナなどの農産物を関税なしで輸入できるようになったほか、看護師や介護福祉士の候補者の受け入れが始まった。
4. FTA（自由貿易協定）の締結により、フィリピンからのすべての輸入品に高い関税をかけることで、日本の国内農業を保護する仕組みが強化された。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 年中高温多湿であるため、高床式住居にして風通しを良くし、湿気や暑さへの対策としている。	世界の諸地域では、その土地の気候や地形に合わせて住居の形式が発展してきました。インドネシアなどの東南アジア島嶼部は熱帯雨林気候に属し、多雨で蒸し暑い環境にあります。そのため、風通しを最優先した高床式の構造が選ばれています。一方で、乾燥帯では日干しれんが、モンゴルのような乾燥した草原では移動式の住居、ロシアのような冷帯では丸太小屋（イズバ）といったように、それぞれ異なる工夫が見られます。
問2	答え 2 1950年代に一度140万人を突破してピークを迎えた後、2000年から2010年にかけては約140万人から約133万人へと減少した。	岩手県の長期的な人口推移を見ると、1950年代に最初の大きなピークがあり、この時期に140万人を超えています。その後、21世紀初頭の2000年時点でも140万人近い水準にありましたが、そこから2010年にかけての10年間で約133万人まで減少しており、少子高齢化や社会増減の影響による人口減少局面に入っていることがわかります。「1900年から1940年の間に人口が2倍になった」という事実はなく、また「全時期を通じて80万人以下」という説明も誤りです。
問3	答え 1 富士山型	発展途上国では出生率が高く、子供の数が多い一方で、医療体制や衛生環境が十分に整っていないために死亡率も高く、高齢まで生存できる割合が低くなります。その結果、底辺が広く頂上に向かって急激に細くなるピラミッド状の形となり、日本の富士山のシルエットに似ていることからこのように呼ばれます。
問4	答え 4 島原・天草一揆	この一揆は江戸幕府を揺るがす最大規模の内乱となりました。この後、幕府はキリスト教の禁止を徹底するため、ポルトガル船の来航禁止や鎖国の完成へと政策を強めていくこととなります。選択肢にある「加賀の一向一揆」は室町時代に浄土真宗の門徒が起こしたものです。
問5	答え 4 コミュニティバスやデマンド型交通	移動手段の確保が困難な高齢者が多い地域では、従来の路線バスだけでは十分なサービスを提供できない場合があります。そこで、住宅地の細い道を通るコミュニティバスや、予約があった時だけ運行するデマンド型交通（予約型乗り合いタクシーなど）を導入することで、高齢者が自宅近くから目的地まで移動できる仕組みづくりが進められています。
問6	答え 2 スペインの支援を受けたマゼランの船隊が、南アメリカ大陸の南端を通過して西へ進み、世界一周を達成した。	16世紀は、大型船の建造技術や航海術が発展した大航海時代の最盛期にあたります。マゼランの船隊による世界周航は、地球が球体であることを実証する画期的な出来事となりました。他の選択肢は、アヘン貿易が19世紀、ボストン茶会事件が18世紀、十字軍が11世紀末から13世紀の出来事であり、大航海時代の初期から中期の航海目的やスペインの活動とは異なります。
問7	答え 2 西	地球儀において、ある地点を通る経線は南北の方向を示しています。この経線に対して直角に交わる線をたどることは、緯線に沿って移動することと同じであり、その方向は東または西を示します。東京を起点としてユーラシア大陸側（左側）へ向かう場合は、方位の定義に基づき西となります。
問8	答え 2 文明開化	明治初期、欧米の生活様式が取り入れられた現象を文明開化と呼びます。建築では煉瓦造りが、照明ではガス灯やランプが普及し、食生活では牛肉を食べる習慣（牛鍋）が広まるなど、人々の暮らしは急速に西洋化しました。選択肢にある「国風文化」は平安時代、「大正デモクラシー」は大正時代、「高度経済成長」は昭和時代の中期を指す言葉です。
問9	答え 3 イスラム教徒にとって豚肉は教典により禁じられた食材であり、安心して食事をしてもらうため。	グローバル化が進む現代社会において、日本を訪れる外国人観光客の背景も多様化しています。イスラム教を信仰する人々にとって、豚肉を口にしないことは信仰上の重要な規律です。料理そのもののだけでなく、豚肉由来の成分が含まれる調味料や出汁についても注意を払う必要があるため、提供側が「PORK INSIDE」といった明示を行うことは、異なる文化を持つ人々を受け入れるインバウンド対応において不可欠な視点となっています。
問10	答え 3 地方の特産物を納める調、都での労役に代わる布を納める庸、地方での労役である雑徭、そして兵役	律令制における税負担のうち、田地に対して課せられる「租」は男女ともに課せられましたが、それ以外の「調（特産物）」「庸（都での労役の代わりの布）」「雑徭（地方での労役）」「兵役」などは主に男子に対して重く課せられていました。そのため、これらの重負担を避ける目的で、戸籍を書き換えて男子を女子と偽る「偽籍」が増加し、国家の財政や軍事体制に影響を与えました。
問11	答え 4 将軍の補佐役である管領の家督争いや将軍の跡継ぎ問題が重なり、応仁の乱が始まった。	足利義政が東山文化を築いた室町時代中期には、有力な守護どうしの対立が深まっていました。特に将軍の補佐役である管領の家系（畠山氏や斯波氏）の家督争いに、将軍足利義政の跡継ぎ問題、さらに守護の細川氏と山名氏の対立が結びつき、1467年に応仁の乱が勃発しました。この戦乱により京都は荒廃し、幕府の権威は大きく衰退することとなりました。
問12	答え 3 EPA（経済連携協定）の締結により、バナナなどの農産物を関税なしで輸入できるようになったほか、看護師や介護福祉士の候補者の受け入れが始まった。	EPA（経済連携協定）は、物品の関税撤廃だけでなく、サービス、投資、人の移動など幅広い分野での連携を目的とした協定です。日本はフィリピンとのEPAに基づき、バナナなどの農産物を関税なしで輸入し、消費者に安く提供できるメリットを得ています。また、少子高齢化による人手不足を背景に、看護師や介護福祉士の候補者を受け入れる制度も運用されています。自由貿易協定（FTA）は主に物品の関税撤廃に重点を置いたものであり、EPAはその内容をさらに広げたものと捉えられます。